

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に 係る整備、維 持補修又は維 持運営等措置	梅久保中山線 落石防護網設置工事	奥多摩町	10,476,000	7,630,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営措置	梅久保中山線落石防護網設置工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		奥多摩町	
交付金事業実施場所	東京都西多摩郡奥多摩町境857番1先		
交付金事業の概要	<p>町道梅久保中山線は、地域住民の生活道路として、また観光用散策路としても利用されていますが、落石の危険があるため、落石防護網を設置することで安全対策を講じます。</p> <p>【落石防護網設置工事概要】 工事延長 46.0m 落石防護網 長さ 36.0m、高さ 7.0~15.0m、面積 397.0m<sup>2</sup></p>		
総事業費	10,476,000	交付金充当額	7,630,000
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	7,630,000

<p>交付金事業の成果目標</p>	<p>町道梅久保中山線は、小河内ダムの下流に位置しており、地域住民の生活道路として、また毎年多くの来遊者で親しまれている観光散策路である「奥多摩むかし道（旧青梅街道）」の一部としても利用されています。しかしながら、この道路は山の一部を切り取るにより築造されているため、落石の危険があり、何らかの補強をしないと大事故につながる恐れがあります。このため、地域住民からは災害防止策を求める要望も強く出されており、町としても安全対策の推進が必要と考えています。</p> <p>この町道梅久保中山線への落石防護網設置工事は、平成8年から実施していますが、今年度においても引き続き未整備箇所を行い、道路の整備を図ることにより、地域住民の生活の利便性および安全性の向上とともに、「奥多摩むかし道」を利用した観光イベントなど、地域の特性を活かした町の観光産業の向上が期待できます。</p>
<p>交付金事業の成果指標</p>	<p>町道梅久保中山線における落石防護網設置工事により、当該路線利用時の安全性を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 防護網の規模 長さ46.0m、高さ7.0～15.0m、総面積397.0㎡</li> <li>◆ 防護網設置箇所における落石事故件数 0件</li> </ul>
<p>交付金事業の成果及び評価</p>	<p>今回実施した交付金事業により、町道梅久保中山線に長さ36.0m、高さ7.0～15.0m、総面積397.0㎡の防護網を設置（工事延長は46.0m）しました。実際に、防護網設置箇所において、設置後から現在（2018年4月）に至るまで落石事故は発生していません。</p> <p>この対応によって、地域住民の生活利便性の向上とともに、観光事業等のイメージアップ、またこの道路を使用する人々に対する安全・安心を確保することができました。</p> <p>ただし同路線においては、落石未対策箇所がまだあることから平成30年度も引き続き本事業を継続して対応していく予定です。</p>

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
工事請負契約	指名競争入札	大章建設有限会社	10,476,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			
なし			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			平成32年

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
  - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
  - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
  - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。